

吉野川川田川箇所環境整備事業事後評価

水辺の楽校 山川バンブーパーク

平成 19年 2月 1日

国土交通省四国地方整備局

目 次

1	水辺の楽校「山川バンブーパーク」事業の概要	P.1
1.1	事業箇所の概要	P.1
1.2	事業概要	P.2
1.3	整備内容	P.4
2	事業の効果の発現状況	P.8
2.1	利用者数の推移	P.8
2.2	利用状況からみる事業効果の発現状況	P.9
3	費用対効果分析	P.14
3.1	便益算定手法	P.14
3.2	便益の算定	P.15
3.3	費用の算定	P.17
3.4	費用便益比の算定	P.18
4	事後評価に係る資料	P.19
5	参考資料	P.21

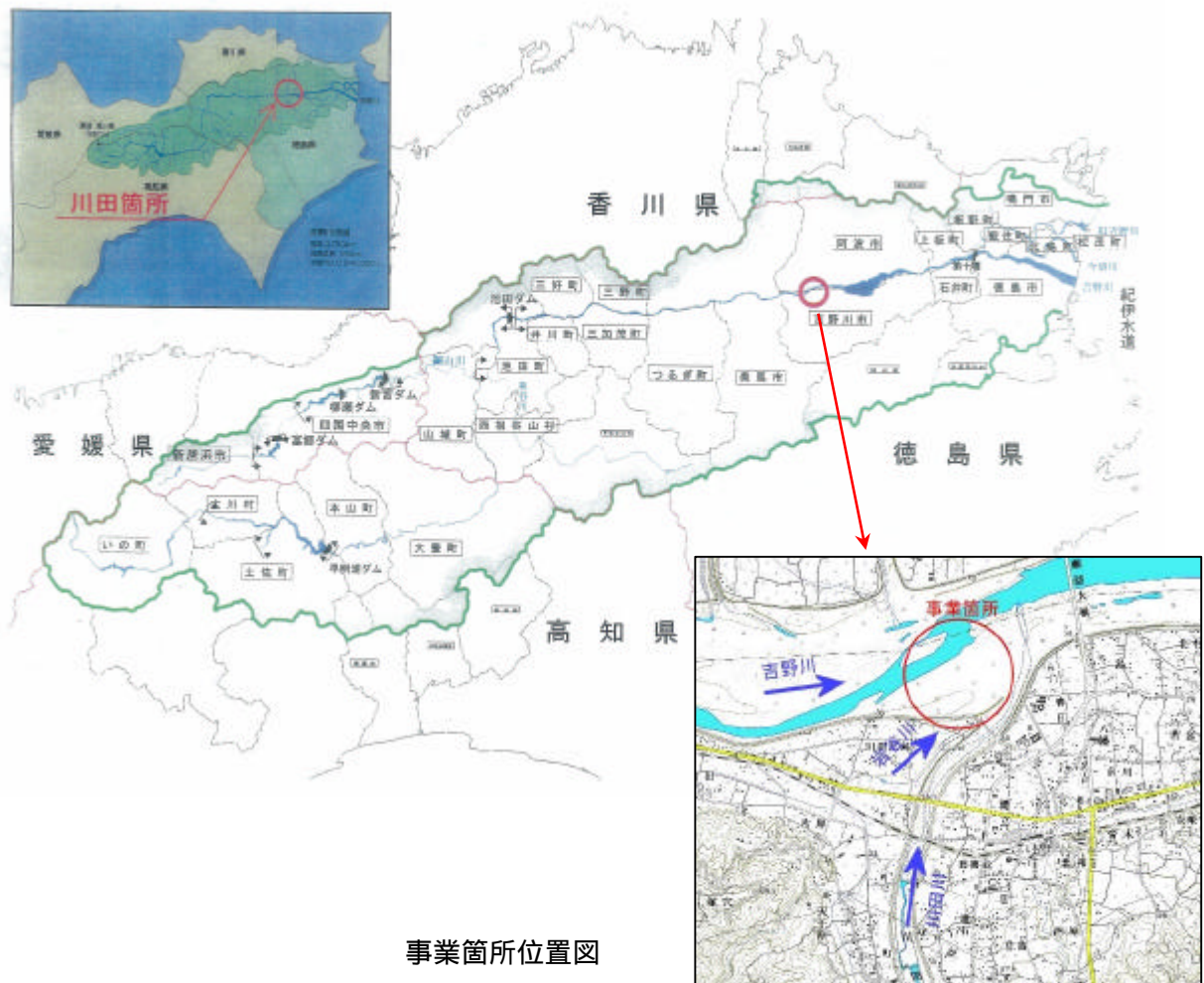
1. 水辺の楽校「山川バンブーパーク」事業の概要

1.1 事業箇所の概要

吉野川は、四国四県に跨り、延長194km、流域面積は3,750km²と広大であり、古くから「四国三郎」と呼ばれ、坂東太郎の利根川、筑紫次郎の筑後川と並んで日本を代表する大河川であり、暴れ川としても有名である。その流れは、高知県瓶ヶ森に源を発し、四国第2の高山である剣山(標高1,955m)を中心とした四国山地に沿って流下し、池田町から流れを東へ転じ、北の讃岐山脈と南の四国山地に挟まれた徳島平野を流れ、全177の支流を集めて、徳島市にて紀伊水道へと注いでいる。流域には、剣山国立公園や石鎚国立公園など多くの自然公園が点在しており、優れた自然景観が残され、豊かな自然に恵まれている。

当該事業箇所は、吉野川中流域、河口から約37kmの右岸に位置し、吉野川の支川である岩谷川や川田川が吉野川に合流する地点である。川沿いは、水防の役目を果たしている竹林の密生地帯となっている等、静かで自然豊かな場所である。また、この箇所から少し上流の川沿いは、鮎釣りが盛んな場所となっている。

こうした自然豊かな背景を活かすべく、徳島県初の水辺の楽校が整備されたものである。



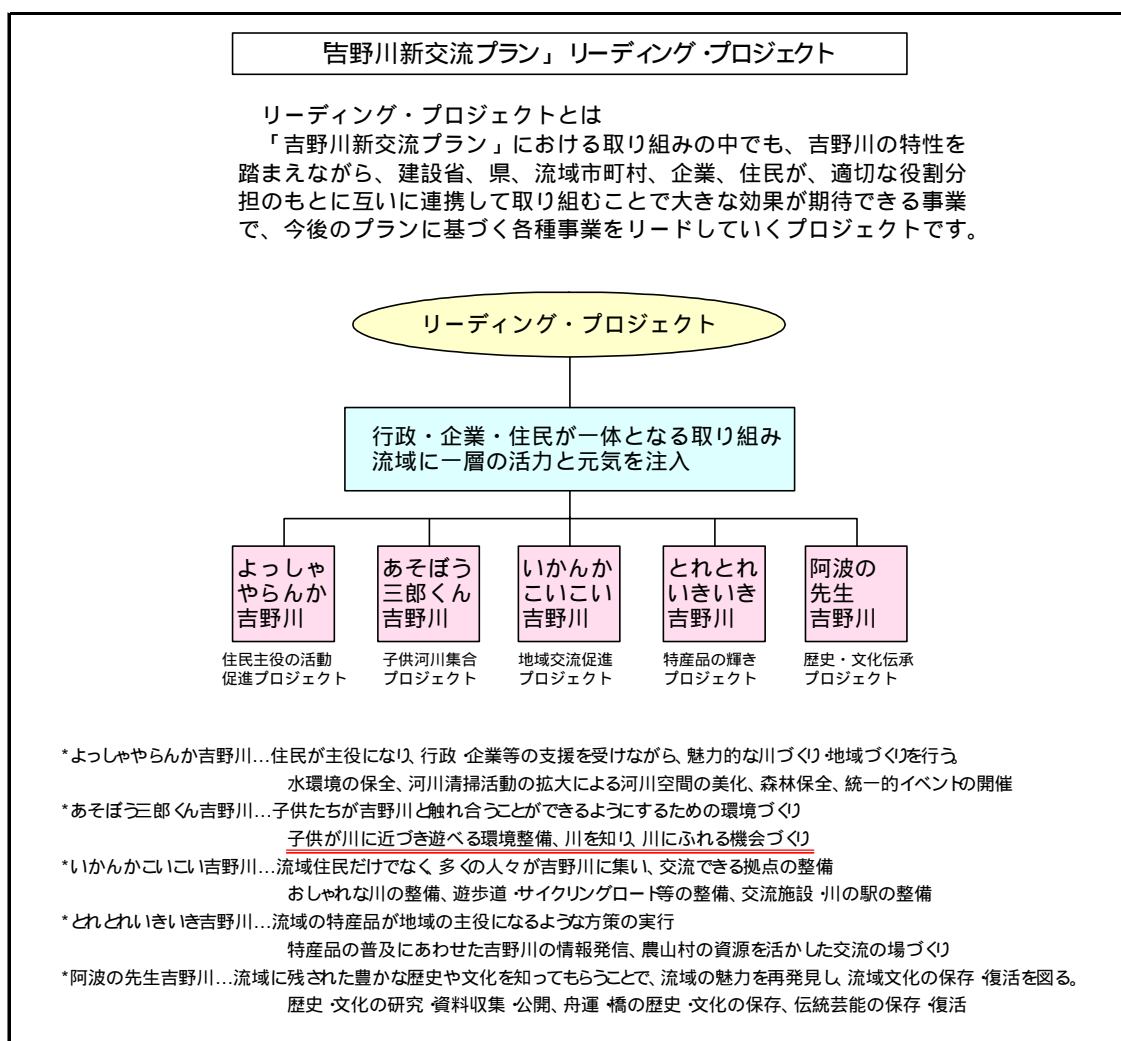
事業箇所位置図

1.2 事業概要

背景

明治時代のころ、吉野川の洪水の被害から堤防を守るために、吉野川・川田川沿いに旧瀬詰村民の奉仕によって水防林が設けられた。村民たちは、この竹林を財産区として、地区全体において、竹を伐採し生活等に利用するなどして、維持管理を行ってきた。しかし、近年、竹の利用が減り、人手が足りないなどの問題が出てきたことから、今後の維持管理について検討していた。

その一方で、徳島県は、旧建設省と共同で、徳島県の豊かな自然の象徴である吉野川を対象として、全国に誇れる徳島の新しい顔づくりを行政・企業・住民が一体となって行うことを目的とした「吉野川新交流プラン」を平成9年10月に策定した。このような状況の中、当該地の計画については、そのリーディングプロジェクトの一つである「あそぼう三郎くん吉野川～子供河川集合プロジェクト～」において、これまで川から遠ざかっていた子供たちが、吉野川と触れ合うことができるようにするための環境づくりの取組みとして、「子供が川に近づき遊べる環境整備」が位置づけられた。それを踏まえ、平成9年に吉野川の河川敷や広大な竹林及びその周辺を有効に活用し、子供たちが安全に自然と出会える場を創出する「水辺の楽校プロジェクト」の実施に至った。



「吉野川新交流プラン」より

水辺の楽校プロジェクトの概要

本プロジェクトでは、身近な自然空間である河川を子供たちの自然体験・自然学習の場として活用できるよう、小学校等の周辺の河川を『水辺の楽校』として登録し、NPO、ボランティア団体、教育関係者等の地域の方々と協力しながら、水辺の遊びや学習を支える地域連携体制を構築する。

また、自然の状態を極力残しながら、必要に応じてアクセス施設の整備、瀬や淵・せせらぎの復元等を行い、子供たちが自然と出会う安全な水辺を創出する。



水辺の楽校「山川バンブーパーク」周辺の教育施設位置図

事業の経緯

- 平成 9 年 10 月 水辺の楽校プロジェクトの検討会開催（徳島県）
（国土交通省、県土木部、教育関係者、県農林水産部、学識経験者らが出席）
- 平成 9 年 11 月 旧建設省河川局へ申請
- 平成 10 年 6 月 水辺の楽校登録
- 平成 10～13 年 9 回の推進協議会を実施し、町からの事業承認を得た。
（その後、運営協議会に移行）
- 平成 11 年度 地元の各小学校に依頼して、水辺の楽校アンケート調査を実施。
子供たちの意見を計画に反映。
- 平成 11 年 8 月～平成 12 年 3 月 昆虫・植物を対象とした環境調査の実施
- 平成 14 年 2 月 水辺の楽校完成（施設の完成）
- 平成 14 年 7 月 水辺の楽校開校

1.3 整備内容

整備基本方針

(目標)

子供たちが安全に自然と出逢える場の創出を行い、その中で「遊び」「体験」「学習」を通し、自然に親しみ、理解し、大切にすることを養い、健全な成長に寄与すると共に、次世代への地域づくりの担い手を育成することを目標とする。

(整備の方針)

ふれあい... 子どもたちに安全に水辺と触れあえる機会を提供するとともに、多くの友達や地元の方々との「ふれあい」を通じて、子供たちの自然環境への関心を高めることができる場とする。

伝承 ... 川の達人と子どもたちの交流により、川遊び・魚とり、伝統的な川との関わり、また竹の達人からは竹トンボ・竹馬・竹ボウキ等の竹細工の手法など忘れかけている地域文化の伝承復活の場とする。

環境保全... 吉野川の豊かな自然に対する保全活動を、地域的な取組みとしていけるよう、自然の大切さを感じる場とすると共に、その指導者の育成の場とする。

整備の内容

国土交通省では、周辺の管理用道路・河岸整備・進入路(坂路)等の基盤整備を、平成10年度より直轄河川環境整備事業により事業着手し、平成14年2月末に完成した。

吉野川市(山川町)は、各種利用施設・上物施設整備を平成12~13年度で実施した。

整備内容

国土交通省 (基盤整備)	管理用道路 1.869 km、河岸整備 0.35km、坂路 4 箇所
吉野川市 (上物整備)	多目的広場(芝生広場(A=14,100m ²)・ステージ(A=330m ²)・トンボ池・水遊びの池・木製遊具)、エントランス広場、光の広場(A=920m ²)、バンブーアスレチック、遊歩道(L=1.2km)、駐車場(42台)、野鳥観察場、管理棟、トイレ、水飲場

管理状況

供用開始より、園内の清掃及び管理については、吉野川市(山川町)の教育委員会により行われてきたが、平成18年4月より指定管理者によって行われている。

また、年に2回程度、婦人会等のボランティアによる清掃活動が行われている。

管理内容

巡視、清掃、水の管理、多目的広場・光の広場等の管理、植生の管理、管理道の管理、駐車場の管理、トイレの管理

国土交通省による整備内容

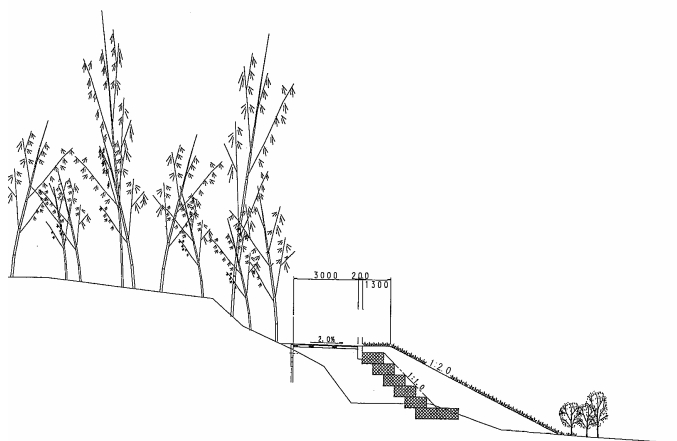
低水河岸や堤防等の河川管理施設の管理を強化するために必要な、管理用道路と坂路、河岸の整備を行った。



管理用道路



坂路工



河岸整備

吉野川市による整備内容

・エントランス広場

園内およびイベント等の案内のほか、周辺に生息する生物などを紹介している。園名サインには、山川バンブーパークのキャラクターである「のこちゃん」が描かれ、来園者を迎えている。

・多目的広場

広大な芝生広場で、スポーツやイベントに使用する。竹を利用したステージを設置し、イベント等に使用する。また、人工池では、子供の水遊びやトンボ・メダカ等の生態を観察することができる。

・光の広場

多目的広場と川原とをつなぐ竹のゲートの途中に開かれた明るい空間で、集い・野外学習などの場とする。

・バンブーアスレチック

自然の竹を使用したジャングルジムや竹のぼりなどの地域の特色を活かした遊具を設置している。

・健康の路（遊歩道）

自然を感じることでできる遊歩道を設置している。また、自然と触れ合いながら、竹踏み、石踏みのできる健康の路を設けている。

エントランス広場



光の広場



多目的広場

バンブーアスレチック



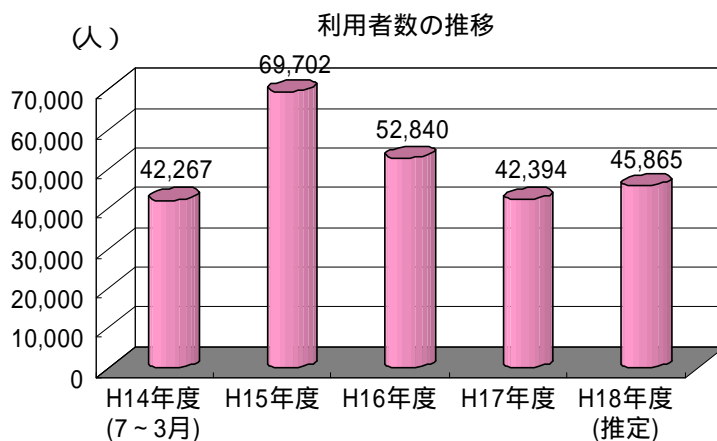
健康の路



2. 事業の効果の発現状況

2.1 利用者数の推移（吉野川市公園利用管理簿より）

平成14年7月～平成15年3月	延べ利用者数	42,267人	
平成15年4月～平成16年3月	延べ利用者数	69,702人	
平成16年4月～平成17年3月	延べ利用者数	52,840人	
平成17年4月～平成18年3月	延べ利用者数	42,394人	
平成18年4月～平成18年6月	延べ利用者数	16,979人	(推定年間利用者数 45,865人)
累積利用者数		224,182人	平成16、17年度7～3月までの利用者数の平均値をもとに推定
年平均利用者数		56,046人	




バンブーパークは、徳島自動車道脇町 I.C から車で約 15 分、最寄りの JR 徳島線阿波山川駅から徒歩約 20 分の位置に立地し、毎日の健康づくりの場、地域の人々の交流の場、家族や友達との触れ合いの場、デイサービスによる在宅老人のリフレッシュのための場として、多くの利用者が訪れている。週末には、吉野川市外からもたくさんの方が訪れ、自然や人との「ふれあい」を楽しんでいる。

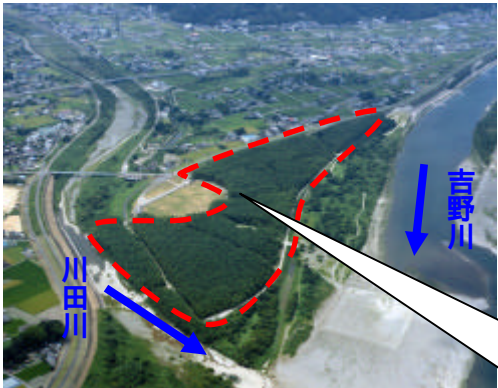


2.2 利用状況からみる事業効果の発現状況

発現状況

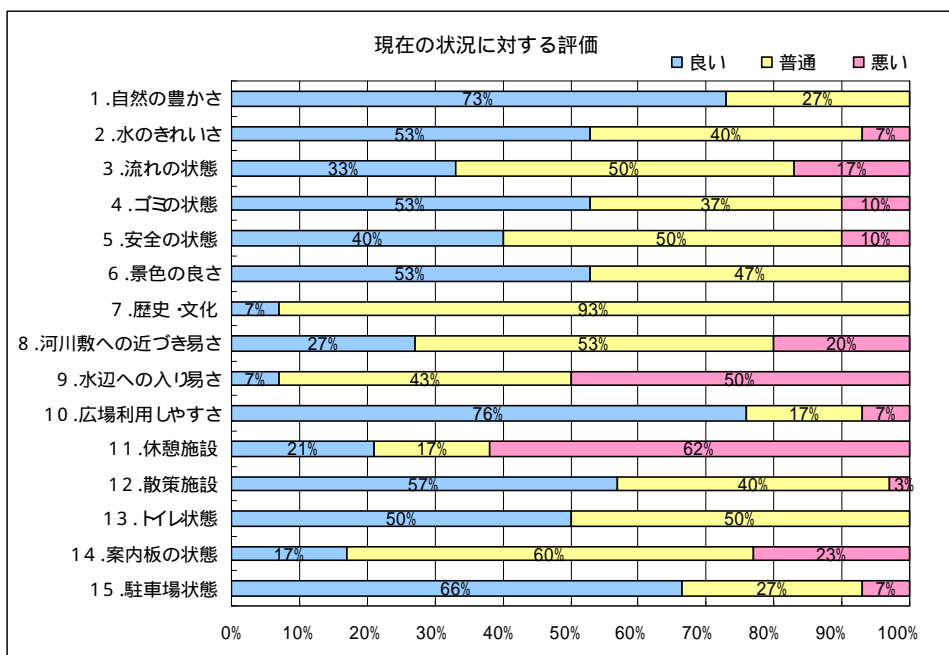
豊かな自然を感じることでできる場として評価

写真の  部分は、自然環境の保全と治水の観点から、竹林を残して整備を行った。カラカラと風にゆれる竹の音を聞きながら、古くから築き上げられてきた歴史のある自然を感じることでできる場となっており、自然環境面に対する高い評価を得ている。



川の通信簿による評価

H18年8月に行われた「川の通信簿～川の親しみやすさの成績表～」の調査においては、自然環境や広場の利用やすさにおいて高い評価を得ており、総合的な成績では四つ星(相当良い)の評価となっている。コメントでは、「芝生がきれいで、子供達と遊びやすい、すばらしい空間」とされている。しかし、「水辺へ近づきにくい」「木陰や休憩施設が少ない」との意見もあり、その改善によりさらに良い空間となると思われる。



平成 18 年 8 月 27 日バンブーパークにて調査

発現状況

子供たちの安全な親水活動の拠点としての利用

安全に水と親しめるようにトンボ池を整備したことにより、水遊びや、水生生物の観察等に利用されるなど、川とふれあう機会を創出している。夏には、子供たちの親水活動の拠点となっているだけでなく、一年を通して四季折々の水辺の変化を観察するなど、水辺や水遊びに対する関心を高めている。



地元幼稚園・小学校の合同遠足で水遊びを楽しむ子供たち

河岸部においては、自然河岸や砂州広場が広がっている。水辺へのアプローチとして高水敷からの階段が設置され、水辺に近づくことができる。

発現状況

環境教育の拠点としての利用

近隣の小中学校による水生生物観察会・標本づくりや葉脈標本づくりが行われるなど、自然の中で遊び、体験することによって自然について学習し、自然の大切さを感じることができる、環境教育の拠点としての役割を果たしている。また、エントランス広場には、周辺に生息する生物を紹介したパネルが設置されており、自然への関心を高めている。



植物観察会



水生生物調査

発現状況

健康づくりの場としての利用

サッカーや駅伝、マラソン大会、グランドゴルフ、健康ウォーク等、子供からお年寄りまで、健康づくりの場として利用されている。また、日常的に朝夕にはジョギングやウォーキングのために利用する人の姿が多く見られる。



マラソン大会



グランドゴルフ大会



健康ウォーク

発現状況

地域の人々の交流の場、歴史や文化の伝承の場として利用

町内の幼稚園・保育園による七夕飾りや、小中学校の遠足等、地域の様々なイベント等で多目的に利用され、地域の人々との交流の場となっている。

また、講師を招いて、竹細工教室や竹炭焼き体験、ミニ門松づくりなど、バンブーパークならではのイベントが開催され、自然に育まれた歴史や文化の伝承の場となっている。



地元幼稚園・保育園生による七夕飾り



地元幼稚園・小学校の合同遠足



伐採した竹を利用した門松づくり

発現状況

地域に根ざした公園としての評価

計画に地元の子供たちの意見を取り入れたり、協議会等により地元の人たちが意見を出し合っ
て実施に至ったことから、地域の特性をうまく取り入れることができた。地域住民の憩いの場と
なることへの期待も大きく、用地は無償で提供してもらっている。古くから、住民の財産として
守られてきた場所であり、自然を身近に感じ、自然の大切さを感じることができることから、地
域の人々に愛され、親しまれる河川公園として利用されている。また、公園管理の面においても、
地域にボランティアが自然と育成され、清掃活動や除草作業などが行われている。これらのこと
が評価され、平成 14 年度には「手づくり郷土賞」、平成 16 年度には「徳島県まちづくり環境大
賞」に選ばれ、地域性をうまく活かし、地域に根ざした公園として評価を受けた。



ボランティアによる清掃作業の様子

発現状況

まとめ

以上の利用状況からみた事業効果の発現状況をまとめる。

1. 豊かな自然を感じることの出来る場として評価を得ている。
2. 子供たちの安全な親水活動の拠点として利用されている。
3. 環境教育の拠点として利用されている。
4. 健康づくりの場として利用されている。
5. 地域の人々の交流の場、歴史や文化の伝承の場として利用されている。
6. 地域に根ざした公園として評価を得ている。

地域において多くの人に利用され、水辺の楽校としての機能を十分果たしていると思われる。

3 . 費用対効果分析

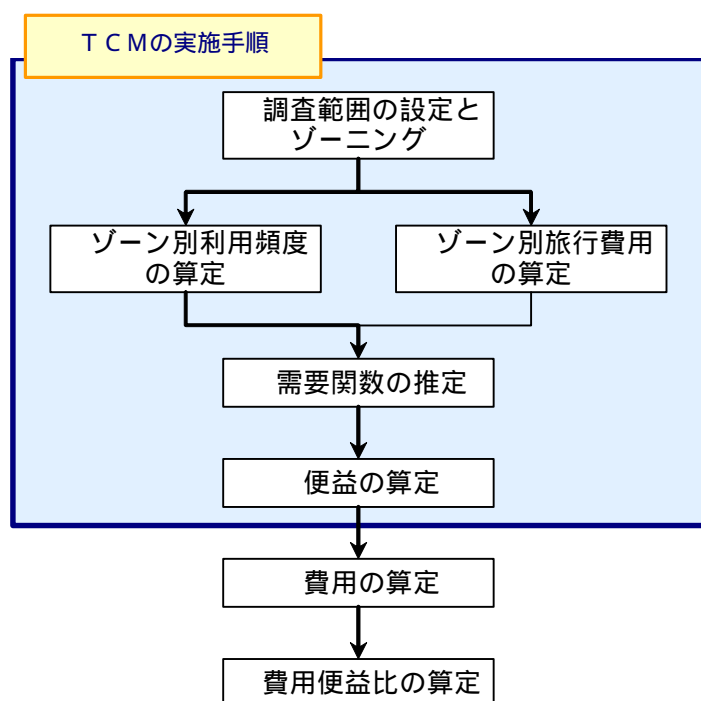
事業の経済性などを表現する 1 つの指標である費用便益比 (B / C) を用いて、事業の経済効果を計測する。

費用対効果算定にあたっての条件	
整備期間	平成 10 年度～平成 13 年度
評価対象期間	50 年間 (平成 14 年度～平成 63 年度)
社会的割引率	4 % 評価時点より前はデフレーターを用い、価格水準を統一化した上で社会的割引率により現在価値化を行う。
基準年	平成 18 年度
便益 (B)	年便益 : 53 百万円、総便益 (現在価値) : 1,397 百万円
費用 (C)	事業費 : 742 百万円、維持管理費 : 年間 8.05 百万円 総費用 (現在価値) : 1,117 百万円
費用便益比 (B / C)	1.25

3.1 便益算定手法

便益の算定については、レクリエーションサイト一般の評価に適し、実際の行動に基づく RP データ (利用者データ等) を用いて行うことができることから事後評価において多く用いられている、TCM (Travel Cost Method : 旅行費用法) を用いることとする。

TCM : 対象施設等を訪れる人が支出する交通費等の費用や費やす時間の機会費用を求め、これをもって便益を計測する方法。



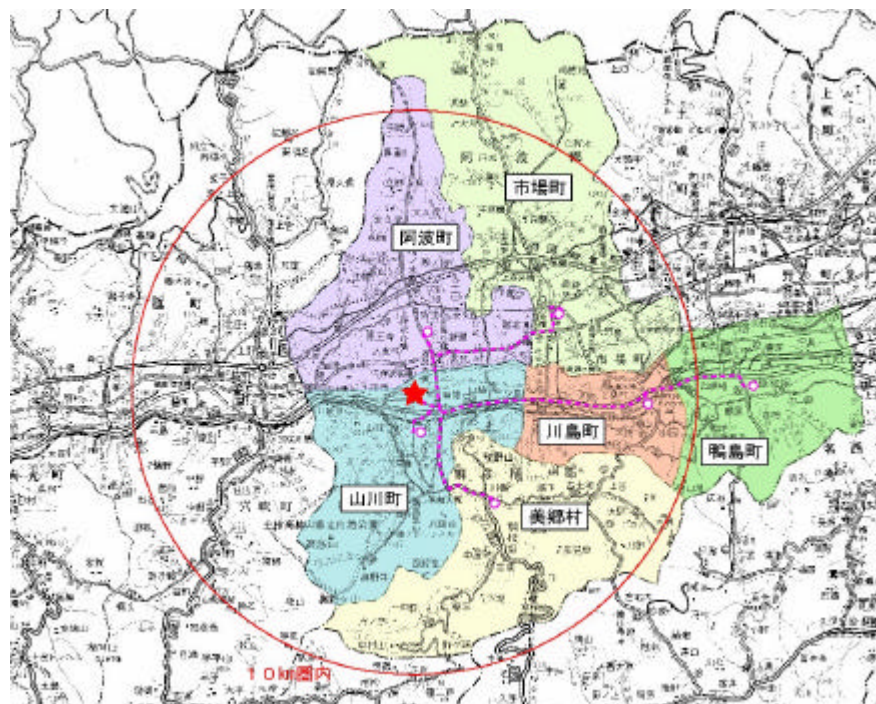
費用対効果分析の手順

3.2 便益の算定

調査範囲の設定とゾーニング

調査範囲は、評価対象とした環境財の便益が及ぶ範囲とする。既存の利用者データより、80%誘致圏となるエリア（約10km圏）を調査範囲と設定する。

市町村合併前の旧町村により、6つのゾーンに区分。



ゾーン別利用頻度の算定

当該箇所では、供用開始年（平成14年）以降、河川水辺の国勢調査（河川空間利用実態調査）等の実態調査は行われていないため、月別利用者データを用いて、ゾーンごとの利用頻度を算定する。

ゾーンAの利用頻度 = ゾーンAの年間入込み客数 / ゾーンAの人口

年間入込み客数：平成14年7月～平成18年6月までの利用者データを使用

ゾーン人口：平成12年国勢調査データを使用

ゾーン	a. 年間入込客数	b. 人口	c. 利用頻度(a/b)
鴨島町	13,451.04	25,288	0.532
川島町	4,483.68	8,416	0.533
山川町	21,297.48	11,673	1.825
美郷村	1,681.38	1,417	1.187
阿波町	2,802.30	13,725	0.204
市場町	2,241.84	11,781	0.190
合計	45,957.72		

年間平均利用者数 56,046人 × 80% = 44,837人

ゾーン別旅行費用の算定

各ゾーンの役場からの旅行費用を算定する。

旅行費用 = 所要費用 + 時間費用

$$= (\text{走行距離} \times \text{走行費用原単位}) + (\text{所要時間} \times \text{時間価値})$$

所要費用：各ゾーンの中心地（役所・役場の所在地）からの距離(km)と走行費用原単位(円/台・km)との積

時間費用：各ゾーンの中心地からの移動時間(分)と個人の単位時間を金額換算した時間価値(円/分)との積

ゾーン	旧役場からの 往復距離(km)	(往復)所要時間(分)		所要費用(円)		時間費用(円)		旅行費用(円)	
		自動車	自転車	自動車	自転車	自動車	自転車	自動車	自転車
鴨島町	26.0	52.00	-	328.380	-	249.600	-	577.980	-
川島町	19.5	39.00	-	246.285	-	187.200	-	433.485	-
山川町	3.4	6.80	21.25	42.942	-	32.640	102.000	75.582	102.000
美郷村	11.9	23.80	-	150.297	-	114.240	-	264.537	-
阿波町	7.0	14.00	-	88.410	-	67.200	-	155.610	-
市場町	20.3	40.60	-	256.389	-	194.880	-	451.269	-

走行費用原単位 = 12.63 円/台・km (一般道路(平地)、速度 30km/h、乗用車類の場合)

時間価値 = 4.8 円/分 (現金給与総額と実労働時間より算定)

山川町については、自転車利用の可能な範囲であるため、自転車利用者の旅行費用についても算定を行う。

需要関数の推定

ゾーン別の利用頻度及び旅行費用を用いて、一次需要関数を推計する。

ゾーン	利用頻度	旅行費用
鴨島町	0.532	577.980
川島町	0.533	433.485
山川町	1.825	78.224
美郷村	1.187	264.537
阿波町	0.204	155.610
市場町	0.190	451.269

山川町からの交通手段別利用率は、自動車 90%、自転車 10%とする。

$$Y = 10.425X^{-0.531} \quad (Y: \text{利用頻度(回/年)}, X: \text{旅行費用(円/回)})$$

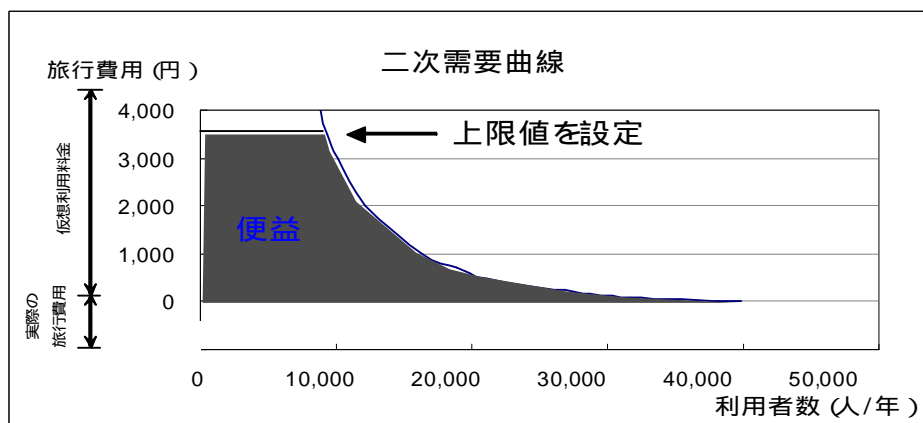
次に、一次需要関数を用いて、仮想利用料金を課した場合の利用回数を算定する。

$$\text{利用者数} = 10.425 (\text{旅行費用} + \text{仮想利用料金})^{-0.531} \times \text{ゾーン人口}$$

便益の算定

「一般的に支払う必要のない利用料を仮に徴収とした場合、設定した利用料とその金額を支払う利用者数との積が消費者余剰を表す」とする考え方にに基づき、仮想利用料金と利用者数の関係から、二次需要曲線を求め、その曲線の積分値を利用者の便益(消費者余剰)として求める。

その結果、単年度便益 = 53.434 百万円 となる。



仮想利用料金については、自然や環境を活かしたイベントの参加料等を考慮し、吉野川流域を対象として河川敷き公園等で開催されている自然体験スクール等の参加料を日当たりに換算した額を、当該公園で同様のイベントを行った際の参加料の限度額として、上限値を3,500円と設定する。

仮想料金の区分	計算式	消費者余剰
0 ~ 100円	$0.5 \times (0 + 100) \times (39,870.7 - 31,643.2)$	411,375
100 ~ 200円	$0.5 \times (100 + 200) \times (31,643.2 - 27,498.7)$	621,675
200 ~ 500円	$0.5 \times (200 + 500) \times (27,498.7 - 21,169.4)$	2,215,255
500 ~ 700円	$0.5 \times (500 + 700) \times (21,169.4 - 18,813.5)$	1,413,540
700 ~ 1000円	$0.5 \times (700 + 1,000) \times (18,813.5 - 16,404.5)$	2,047,650
1,000 ~ 2000円	$0.5 \times (1,000 + 2,000) \times (16,404.5 - 12,194.4)$	6,315,150
2,000 ~ 3000円	$0.5 \times (2,000 + 3,000) \times (12,194.4 - 10,102.5)$	5,229,750
3,000 ~ 3500円	$0.5 \times (3,000 + 3,500) \times (10,102.5 - 9,384.3)$	2,334,150
3,500円 ~	$3,500 \times 9,384.3$	32,845,050
合計(総便益)		53,433,595

3.3 費用の算定

総費用 = 建設費 + 維持管理費 とする。

建設費

基盤整備

国土交通省年度別事業費 (百万円)

工種	全体数量	金額	H10		H11		H12	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
坂路(進入路)	4箇所	85	1	50	1	35		
河岸整備	350m	52.5			240	21	110	31.5
管理用道路	1,869m	112.5			580	29	1,660	83.5
間接費	1式	69				10		59
工事諸費	1式	16				5		11
合計		335		50		100		185

上物整備

吉野川市(山川町)の事業費：約407百万円(平成12~13年度)

(広場、園路、管理棟建設工事、電気・水道工事、造園工事、舗装工事、植栽工事等)

維持管理費

基盤整備部：年間3.20百万円(除草作業、天端補修、塵芥処理、河川巡視、芝張り替え等)

上物整備部：年間4.85百万円(管理人委託費、芝生管理委託費)

合計：年間8.05百万円

3.4 費用便益比の算定

3.2、3.3 によって求められた単年度の便益・費用をもとに、デフレーター及び社会的割引率を用いて現在価値化した評価対象期間内の便益・費用の合計値を算出し、費用便益比を算定する。

総便益 (B)	1,397 百万円
総費用 (C)	1,117 百万円
B / C	1.25

費用便益分析結果

(百万円)

年次	t	換算率		便益		費用				総費用	
		現在価値化換算率	治水事業費指数	便益	現在価値	建設費	建設費現在価値	維持管理費	維持管理費現在価値	費用	現在価値
H10	-8	1.369	0.952			50.000	65.164			50.000	65.164
H11	-7	1.316	0.962			100.000	126.599			100.000	126.599
H12	-6	1.265	0.964			185.000	225.600			185.000	225.600
H13	-5	1.217	0.988			407.000	489.375			407.000	489.375
H14	-4	1.170	1.002	53.434	62.518			8.050	9.437	8.050	9.437
H15	-3	1.125	1.015	53.434	60.113			8.050	9.192	8.050	9.192
H16	-2	1.082	1.000	53.434	57.816			8.050	8.710	8.050	8.710
H17	-1	1.040	1.000	53.434	55.571			8.050	8.372	8.050	8.372
H18	0	1.000		53.434	53.434			8.050	8.050	8.050	8.050
H19	1	0.962		53.434	51.404			8.050	7.744	8.050	7.744
H20	2	0.925		53.434	49.426			8.050	7.446	8.050	7.446
H21	3	0.889		53.434	47.503			8.050	7.156	8.050	7.156
H22	4	0.855		53.434	45.686			8.050	6.883	8.050	6.883
H23	5	0.822		53.434	43.923			8.050	6.617	8.050	6.617
H24	6	0.790		53.434	42.213			8.050	6.360	8.050	6.360
H25	7	0.760		53.434	40.610			8.050	6.118	8.050	6.118
H26	8	0.731		53.434	39.060			8.050	5.885	8.050	5.885
H27	9	0.703		53.434	37.564			8.050	5.659	8.050	5.659
H28	10	0.676		53.434	36.121			8.050	5.442	8.050	5.442
H29	11	0.650		53.434	34.732			8.050	5.233	8.050	5.233
H30	12	0.625		53.434	33.396			8.050	5.031	8.050	5.031
H31	13	0.601		53.434	32.114			8.050	4.838	8.050	4.838
H32	14	0.577		53.434	30.831			8.050	4.645	8.050	4.645
H33	15	0.555		53.434	29.656			8.050	4.468	8.050	4.468
H34	16	0.534		53.434	28.534			8.050	4.299	8.050	4.299
H35	17	0.513		53.434	27.412			8.050	4.130	8.050	4.130
H36	18	0.494		53.434	26.396			8.050	3.977	8.050	3.977
H37	19	0.475		53.434	25.381			8.050	3.824	8.050	3.824
H38	20	0.456		53.434	24.366			8.050	3.671	8.050	3.671
H39	21	0.439		53.434	23.458			8.050	3.534	8.050	3.534
H40	22	0.422		53.434	22.549			8.050	3.397	8.050	3.397
H41	23	0.406		53.434	21.694			8.050	3.268	8.050	3.268
H42	24	0.390		53.434	20.839			8.050	3.140	8.050	3.140
H43	25	0.375		53.434	20.038			8.050	3.019	8.050	3.019
H44	26	0.361		53.434	19.290			8.050	2.906	8.050	2.906
H45	27	0.347		53.434	18.542			8.050	2.793	8.050	2.793
H46	28	0.333		53.434	17.794			8.050	2.681	8.050	2.681
H47	29	0.321		53.434	17.152			8.050	2.584	8.050	2.584
H48	30	0.308		53.434	16.458			8.050	2.479	8.050	2.479
H49	31	0.296		53.434	15.816			8.050	2.383	8.050	2.383
H50	32	0.285		53.434	15.229			8.050	2.294	8.050	2.294
H51	33	0.274		53.434	14.641			8.050	2.206	8.050	2.206
H52	34	0.264		53.434	14.107			8.050	2.125	8.050	2.125
H53	35	0.253		53.434	13.519			8.050	2.037	8.050	2.037
H54	36	0.244		53.434	13.038			8.050	1.964	8.050	1.964
H55	37	0.234		53.434	12.504			8.050	1.884	8.050	1.884
H56	38	0.225		53.434	12.023			8.050	1.811	8.050	1.811
H57	39	0.217		53.434	11.595			8.050	1.747	8.050	1.747
H58	40	0.208		53.434	11.114			8.050	1.674	8.050	1.674
H59	41	0.200		53.434	10.687			8.050	1.610	8.050	1.610
H60	42	0.193		53.434	10.313			8.050	1.554	8.050	1.554
H61	43	0.185		53.434	9.885			8.050	1.489	8.050	1.489
H62	44	0.178		53.434	9.511			8.050	1.433	8.050	1.433
H63	45	0.171		53.434	9.137			8.050	1.377	8.050	1.377
合計					1,396.713						1,117.314
										B/C=	1.25

事業評価に係る資料

事業の概要	事業名	山川水辺の楽校事業	事業種別	環境整備事業		
	水系名等	一級水系吉野川	河川名等	吉野川		
	事業主体	国土交通省	管理者名	吉野川市（旧山川町）		
	市町村名（事業区間）	吉野川市山川町前川	延長	約 1km		
	事業採択年度	平成 10 年度				
	事業期間	平成 10 年度～平成 13 年度				
	用地着手	平成 13 年度				
	完成	平成 14 年 2 月				
	全体事業費	約 7.4 億円（内 3.35 億円は環境整備事業費）				
事業の目的						
<p>地域の身近な水辺における環境学習・自然体験活動のより一層の推進を図るため、市民団体、NPO、河川管理者、教育関係者等が一体となって活動を展開し、水辺の楽校として登録し、河川管理者が水辺の基盤整備を実施。事業申請者が公園の上物を実施する。</p>						
構成施設（全体事業量）						
<p>国：直轄河川環境整備事業 管理用道路 1.869km、河岸整備 0.35km、坂路 4 箇所</p> <p>関連事業 市：エントランス広場、管理棟、駐車場 42 台、トイレ、芝生広場 A=14,100m²、ステージ A=330m²、木製遊具、水飲場、トンボ池、水遊びの池、光の広場 A=920m²、園路 L=1.2km、バンブーアスレチック、野鳥観察場</p>						
位置図						
						
事業の経緯						
<p>明治時代のころ、吉野川の洪水から護岸堤を守るための水防竹林が旧瀬詰住民の奉仕によってつくられ、地域住民たちの財産として守られてきた。しかし、近年では竹の利用が減り、維持管理を行うことのできる人手が少なくなってきたことから、これまで大きな役割を果たしてきた竹林を活かしつつ、自然に親しみ、学習できる公園として整備することになった。</p>						

【事後評価の視点】

事業の 効果 分析	評価の基となる需要予測					
	費用対効果分析の基礎となった要因（施設の状況や費用など）の変化 評価法...TCMによる評価（平成14～18年度バンブーパーク利用者データを用いて算出）					
	費用 対 効果	貨幣換算した主要な費用				
		750 百万円				
	分析	貨幣換算した主要な便益				
		53.4 百万円				
		社会的割引率	4.0%	現在価値の基準年度	平成18年度	
		総費用（割引後）	11.2 億円	総便益	14.0 億円	
		B / C	1.25	B - C	2.8 億円	E I R R 5.6 %
		その他定量的・定性的に考慮した費用及び効果				
その他の事業を実施したことによる効果等 （事業の効果の発現状況）						
<ul style="list-style-type: none"> *豊かな自然を感じることでできる場としての利用 *子供たちの安全な親水活動の拠点としての利用 *環境教育の拠点としての利用 *健康づくりの場としての利用 *地域の人々の交流の場、歴史や文化の伝承の場としての利用 *地域に根ざした公園としての利用 						
事業実施による環境変化						
心ないものによるゴミの不法投棄であった箇所がゴミを捨てられなくなった。						
社会経済状況の変化						
<ul style="list-style-type: none"> *市町村合併により、吉野川市の誕生 *総合学習制度により学習機会が増加した。 *健康志向の高まりから、ウォーキング人口が増加した。 *ボランティアによる清掃が行われたり、自然環境への関心が高まった。 						
対 応 方 針	今後の事後評価の必要性					
	事業の効果が発現しており、今後の事後評価は特に必要ないと思われる。					
	改善措置の必要性					
	アンケート調査において改善点として挙げられた木陰や休憩施設について、快適な利用空間となるよう、関係機関との調整を行う。					
同種事業の調査・計画のあり方や評価手法の見直しの必要性						
<p>本事業評価においては、既存の利用者データを使用して便益算定を行うことができ、TCM手法が妥当であったといえる。</p> <p>事業評価を行うにあたり、来訪者へのアンケート調査や入込み調査等は、利用者特性を把握する上で有益であり、今後行うことが望ましい。また、これらの調査結果を、今後の効果の継続へとつなげる一資料としての活用を図る。</p>						

5 . 参考資料

5.1 吉野川新交流プラン（平成9年10月策定）

（吉野川ホームページより）

プランの趣旨

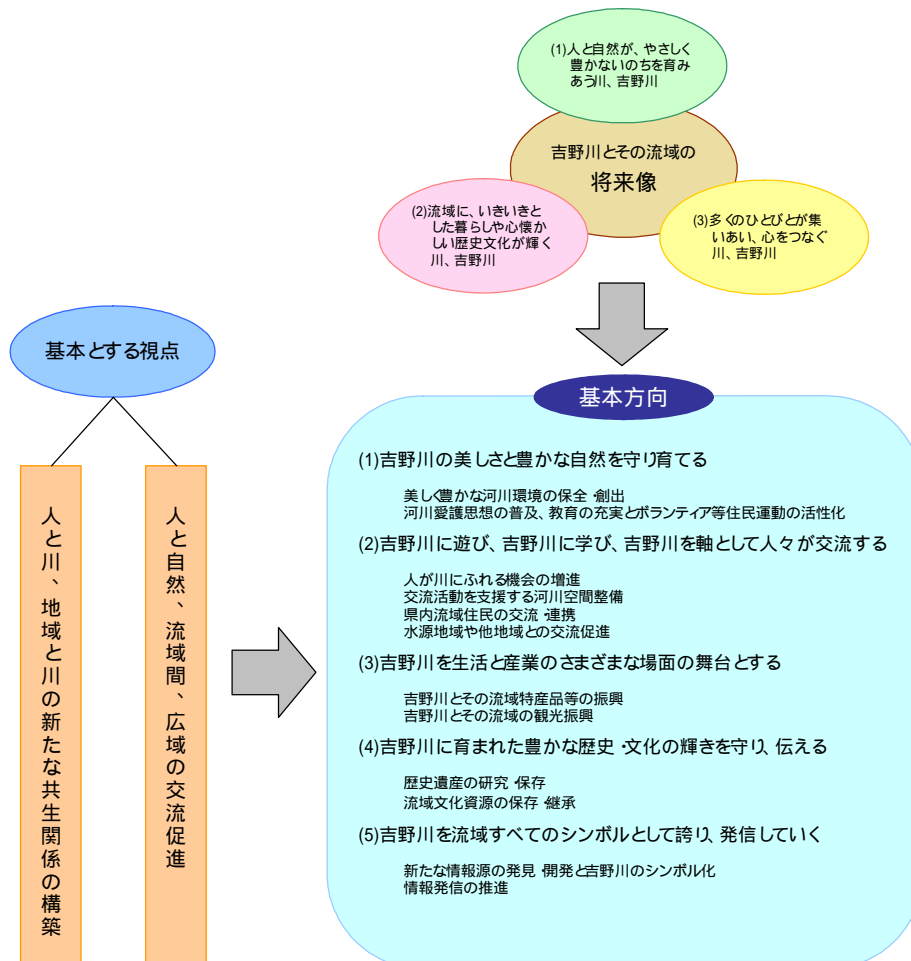
徳島県は建設省と共同で、本県の豊かな自然の象徴であり、徳島の産業や文化、そして住民の生活そのものを支えてきた吉野川を対象として、個性的で魅力あふれる地域を創造し、**全国に誇れる徳島の新しい顔づくりを計画的に推進していくための指針**として「吉野川新交流プラン」を策定しました。



プランの概要

プランにおいては、私たちや川を取り巻く大きな時代の流れを踏まえ、**人と川、地域と川との新たな共生関係を築くとともに、川を軸とした交流を促進**していくことに焦点を当て、21世紀初頭の吉野川とその流域の将来像を描き、それを実現するための**行政、企業、住民が一体となった取り組み方策**を提示します。

また同時に、そこに至る間の今後10年間程度（西暦2006年度）を目途にした具体的な取り組みを示します。



5.2 水辺の楽校プロジェクト～地域一体となった子どもたちの自然体験の場づくり～

(国土交通省河川局ホームページより)

水辺の楽校プロジェクト(平成8年度より実施)とは、

- ・子ども達の水辺の遊びを支える地域連携体制の構築

NPO、ボランティア団体等の地域の方々と協力しながら、水辺が自然体験の場、遊びの場として活用されるような仕組みをつくります。

- ・自然環境あふれる安全な水辺の創出

自然の状態を極力保全、あるいは瀬や淵、せせらぎ等の自然環境を創出するとともにアクセス改善のための緩傾斜河岸の整備等を通じ、子ども達が自然と出会う安全な水辺をつくります。



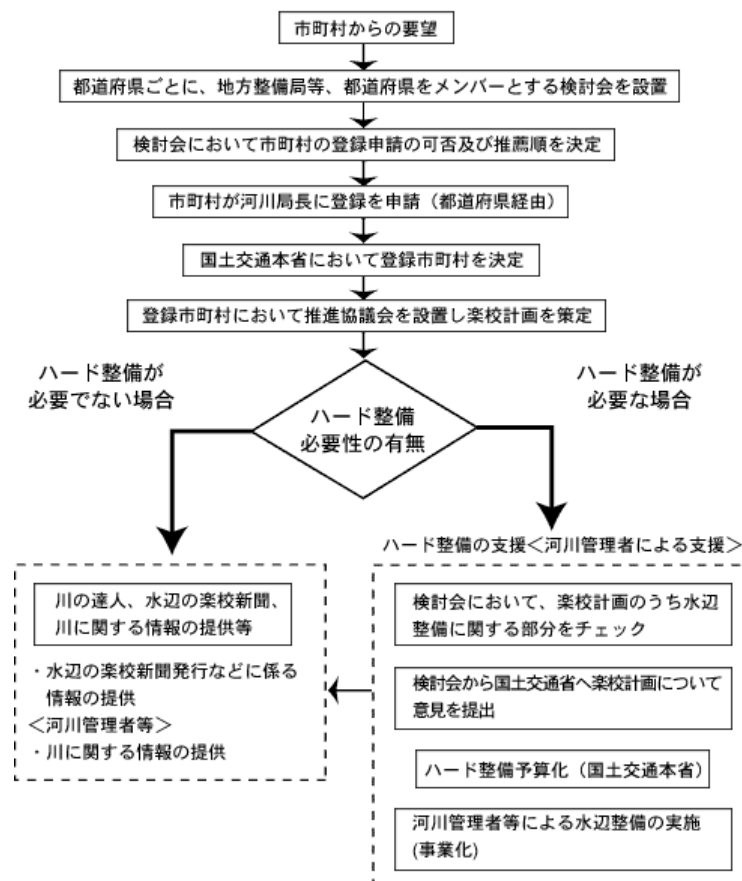
「水辺の楽校」のイメージ図

登録市町村制度

地域の方々の協力体制ができており、優れた水辺整備の構想を持っている市町村を募集により登録します。登録市町村は、地域のNPO、ボランティア団体等を含めた推進協議会を作り、水辺の楽校計画を策定します。

推進協議会：地域のNPO・ボランティア団体、教育関係者、自治体・地域住民、河川管理者

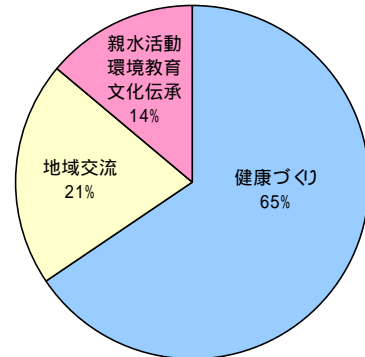
水辺の楽校プロジェクトの実施フロー



5.3 山川バンブーパークの主な利用団体と利用目的

- ・安全な親水活動の拠点としての利用
環境教育の拠点としての利用
歴史や文化の伝承の場としての利用 1,011 人
 (社会教育・バンブーパーク事業関係)
 (子供地域活動支援事業関係)
 (遠足・授業)
- ・健康づくりの場としての利用 4,788 人
(スポーツ関係)
- ・地域の人々の交流の場としての利用 1,516 人
 (青少年育み地域コミュニティ支援事業関係)
 (その他)

主な団体利用者の利用目的



スポーツ関係		
平成14年10月16日	山川健康保険生き生きランドゴルフ大会	70人
平成14年11月 8日	麻植郡中学校駅伝大会	200人
平成14年11月20日	麻植郡ランドゴルフ交歓大会	200人
平成14年12月 6日	山川町国民健康保険主催の生き生き健康ウォーク	300人
平成15年 1月17日	美郷中学校校内マラソン大会	39人
平成15年 1月24日	阿波・麻植中学校新人駅伝大会	200人
平成15年 2月 2日	山川町スポーツ少年団対抗駅伝大会	120人
平成15年 2月11日	麻植郡スポーツ少年団対抗駅伝大会	150人
平成15年 3月 8日	第12回ジュニアマラソン大会	78人
平成15年度	ランドゴルフ、ウォーキング大会、駅伝	2,947人
平成16年度7月まで	ランドゴルフ、ウォーキング大会	484人
合 計		4,788人
社会教育・バンブーパーク事業関係		
平成14年 9月28日	植物観察会・しおりづくり	12人
平成14年10月27日	水生生物観察会	21人
その他利用内容	葉脈標本づくり、ミニ門松づくり、凧づくり教室、竹炭焼き体験、竹細工教室、竹馬づくり、七夕飾り、薬草標本づくり	
合 計		438人
子供地域活動支援事業関係		
	水生生物観察会・標本づくり、葉脈標本づくり	71人
遠足・授業 (詳細な人数は把握できていない)		
	川田中小学校全校児童遠足、鴨島町あすなる保育園遠足、YMCA遠足、ボーイスカウト来園、徳島県中学校統一理科大会、町内幼稚園交流学习、川田小学校水生生物学習、川田中小学校自由学習 等	502人
青少年育み地域コミュニティ支援事業関係		
	大声大会、ミニサッカー大会	46人
その他		
	アマチュアバンドコンサート、ロータスクラブセミナー、結婚披露、日本青年会議所徳島ブロック大会 等	1,470人

(吉野川市公園利用管理簿 平成14年7月～平成16年7月データより)

5.4 川の通信簿（国土交通省河川局ホームページより）

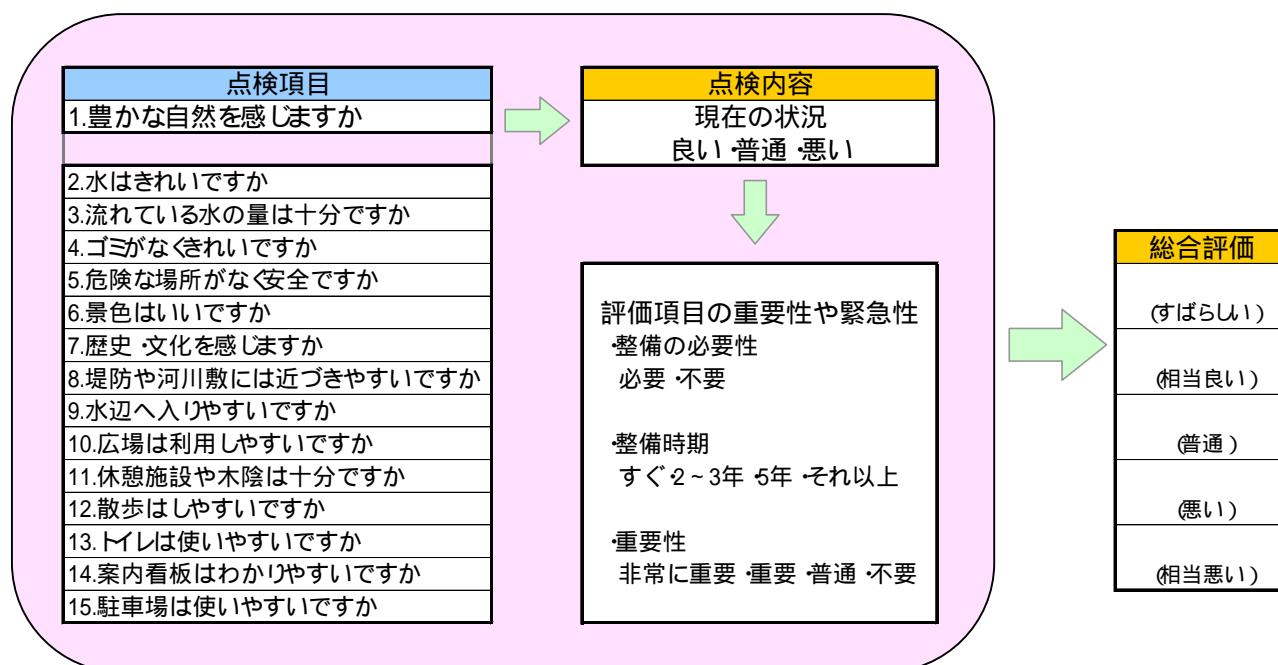
概要

「川の通信簿」は全国 1 級水系のうち直轄管理区間全体を対象として実施するもので、河川空間の親しみやすさや快適性などを、市民と共同作業によるアンケート調査により評価するとともに、その結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映し、良好な河川空間の保全、整備を図っていくための基礎材料とするものです。

平成 14 年度に試行され、平成 15 年度より本格的に実施されています。

点検内容

15 の点検項目があり、箇所毎にそれらの重要度、良い悪いなどの状態、整備の必要性を点検し、最後に 5 段階評価を行います。



徳島県における調査実施箇所

平成15年度 実施箇所と調査結果

調査日	実施箇所	参加人数	星の数
8/17, 9/6	吉野川河口干潟	39人	3
8/3	徳島市民吉野川運動広場	49人	3
7/6	第十堰周辺の水辺	30人	3
7/6	善入寺島周辺の水辺	40人	3
6/29	山川水辺の楽校	37人	4
7/13	貞光ゆうゆうパーク	50人	4
7/27	吉野川河畔ふれあい公園	62人	3
8/27	三加茂町水辺の楽校建設予定地	22人	3
6/28	美濃田の渚	40人	4
8/2	三ツ合公園	43人	3

平成18年度 実施箇所

調査日	実施箇所
10/21	吉野川河口干潟
7/29	徳島市民吉野川運動広場
7/29	第十堰周辺の水辺
10/29	善入寺島周辺の水辺
8/27	山川水辺の楽校
8/19	貞光ゆうゆうパーク
7/16	吉野川河畔ふれあい公園
8/27	三加茂水辺の楽校
8/20	美濃田の渚
8/5	三ツ合公園

～川の親しみやすさの成績表～

川の通信簿

箇所名 : 吉野川 バンブーパーク

子供と楽しめる・バンブーパーク

バンブーパークはこんな所

河川名	1級河川吉野川水系吉野川右岸37.0km付近
所在地	徳島県麻植郡山川町字前川
アクセス	JR徳島線阿波山川駅から徒歩20分
面積	約80,000㎡
管理者	山川町教育委員会
特徴	バンブーパークは、水辺の楽校プロジェクトにより整備され、親子づれ等による自然体験ができる施設です。
主な利用	多目的広場においてスポーツ等
利用者数	113人(平成15年7月27日 調査)
点検参加人数	37人(平成15年6月29日 調査)



平成15年現在の成績表

総合的な成績 : ☆☆☆☆(四つ星) 相当良い

No.	点検項目	現在の状況			整備必要%	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか				25%				
2	水はきれいですか				27%				
3	流れている水の量は十分ですか				19%				
4	ゴミがなくきれいですか				47%				
5	危険な場所がなく安全ですか				27%				
6	景色はいいですか				17%				
7	歴史・文化を感じますか				21%				
8	堤防や河川敷には、近づきやすいですか				26%				
9	水辺へ入りやすいですか				44%				
10	広場は利用しやすいですか				16%				
11	休憩施設や木陰は十分ですか				72%				
12	散歩はしやすいですか				10%				
13	トイレは使いやすいですか				10%				
14	案内看板はわかりやすいですか				23%				
15	駐車場は使いやすいですか				13%				

■ 良い点 ■ 悪い点

特に良い点

芝生が美しく広々として気持ちが良い。
池があり、水と親しむことができる。
芝生が多く広いので、子供が遊ぶのに良い。

特に悪い点

木陰が少ない。
休憩施設が少ない。
夏場、休憩する屋根付きの場所があれば良いと思う

総合コメント

広大な芝生と人工の池があり、子供達が楽しく遊べるすばらしい空間です。
休憩施設等を増やせば、さらに良い空間になるでしょう

～川の親しみやすさの成績表～

川の通信簿

箇所名 **吉野川** **バンブーパーク**

親子で楽しめる・バンブーパーク

バンブーパークはこんな所

河川名	1級河川吉野川水系吉野川右岸37.0km付近
所在地	徳島県麻植郡山川町字前川
アクセス	JR徳島線阿波山川駅から徒歩20分
面積	約80,000㎡
管理者	山川町教育委員会
特徴	バンブーパークは、水辺の楽校プロジェクトにより整備され、親子づれ等による自然体験ができる施設です。
主な利用	多目的広場においてスポーツ等
利用者数	45人（平成18年7月30日 調査）
点検参加人数	30人（平成18年8月27日 調査）



平成18年現在の成績表

総合的な成績： **（四つ星）**
相当良い。満足感を味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備必要 %	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか				52%				
2	水はきれいですか				38%				
3	流れている水の量は十分ですか				43%				
4	ゴミがなくきれいですか				53%				
5	危険な場所がなく安全ですか				52%				
6	景色はいいですか				55%				
7	歴史・文化を感じますか				56%				
8	堤防や河川敷には、近づきやすいですか				64%				
9	水辺へ入りやすいですか				69%				
10	広場は利用しやすいですか				41%				
11	休憩施設や木陰は十分ですか				83%				
12	散歩はしやすいですか				45%				
13	トイレは使いやすいですか				38%				
14	案内看板はわかりやすいですか				69%				
15	駐車場は使いやすいですか				45%				

良い点
 悪い点

特に良い点

いつでも子供と散歩遊びに来やすい。
 芝生がきれい。
 自然を感じてとても良い。

特に悪い点

竹藪の整備がいきとどいていない。
 木陰が少ない。
 水辺に近づけない。

総合コメント

芝生が綺麗で、子供達と遊びやすい、素晴らしい空間です。
 5つ星にするためには、竹藪の整備と木陰を増やす工夫が必要です。

5.5 「手づくり郷土賞」(四国地方整備局ホームページ、国土交通省事業総括調整官室提供のホームページより)

概要

「手づくり郷土賞」は、地域の個性、魅力を創出している良質な社会資本や活動を広く募集、発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、社会資本整備にあたっての創意・工夫を促し、個性あふれ活力のある地域づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度です。

選定対象

【手づくり郷土賞（地域整備部門）】

整備完成后、地域の個性、魅力を創出し、地域の魅力資源あるいはシンボルとして、多くの人に利用され、かつ地域の理解と協力を得て良好に維持管理されている社会資本であり、市区町村が整備したもの、又は都道府県、国が整備したものであっても、市区町村が主体的に維持管理を行っているもの

【手づくり郷土賞（地域活動部門）】

3年以上にわたり社会資本と関わりを持ちつつ地域の個性、魅力、活力を創出するとともに、地域づくりに多くの貢献や波及効果をもたらしている公益性を有する活動

【手づくり郷土賞（大賞部門）】

過去に「手づくり郷土賞」を受賞してからも永く良質な社会資本として認められ、現在も引き続き地域の住民に親しまれ、積極的に維持、活用されるなど、地域に定着し、個性的で魅力的な地域の実現に寄与しているもの

過去の受賞リスト

昭和61年度	人と風土が育てた家並み	30件
	ふるさとが誇りとする橋	30件
	ふれあいの水辺	30件
昭和62年度	いきいきとした楽しい街並み	30件
	ふれあいの並木道	30件
	水辺の風物詩	30件
昭和63年度	小さなふれあい広場	30件
	ふるさとに恵みを与える川	30件
	やすらぎとうるおいのある歩道	30件
平成元年度	いこいとふれあいの道	30件
	生活の中にかける水辺	30件
	歴史をいかした街並み	30件
平成2年度	街灯のある街角	30件
	生活を支える自然の水	30件
	花と緑の手づくりふるさと	30件
	ふるさとの坂道	30件
平成3年度	施設部門	30件
	素材部門	30件
平成4年度	くらしに根づく施設	30件
	ふるさとの色と光	30件
平成5年度	自然とふれあう水辺づくり	30件
	出会いを演出する街角	30件
	ふるさとの風景にとけこむ道	30件

平成6年度	人々が集い憩う水辺づくり	30件
	ふるさとの文化を育む街角の広場	30件
	ふるさとを紹介する道	30件
平成7年度	コミュニティ部門	30件
	自然部門	30件
	歴史・文化部門	30件
平成8年度	テーマを設定せず	37件
平成9年度	テーマを設定せず	40件
平成10年度	テーマを設定せず	38件
平成11年度	テーマを設定せず	32件
平成12年度	テーマを設定せず	31件
平成13年度	地域整備部門	20件
	地域活動部門	9件
平成14年度	地域整備部門	15件
	地域活動部門	11件
平成15年度	地域整備部門	13件
	地域活動部門	10件
平成16年度	地域整備部門	6件
	地域活動部門	11件
平成17年度	地域整備部門	8件
	地域活動部門	12件
	大賞部門	37件

平成14年度地域整備部門受賞物件

置戸町街並み整備事業	北海道
大畑川多自然型川づくり	青森県
日本大通	神奈川県
まといさんぼみち	神奈川県
今町地区急傾斜地	富山県
若宮・西町緑陰歩道	愛知県
柳が崎湖畔公園（びわ湖大津館）	滋賀県
JR鍛冶屋線中村町駅跡「あかね坂公園」	兵庫県
市役所前中央分離帯整備	山口県
見島ゆりや湖	山口県
水辺の楽校（山川バンブーパーク）	徳島県
善通寺地区まちづくり総合支援事業	香川県
野村町農業公園・ほわいとファーム	愛媛県
神幸橋	高知県
金山川	福岡県

平成14年度地域整備部門・四国の選定物件

みず べ がっ こう やま かわ
水辺の楽校（山川バンブーパーク）



竹林が美しい公園

竹と遊び、自然を学ぶ
憩いの楽校



公園内の水辺ではしゃぐ子供たち

5.6 まちづくり環境大賞（徳島県ホームページ、四国放送ニュース記事より）

概要

自然と共生する豊かな生活環境、又は歴史と気候風土に根ざした快適で潤いのある生活環境の創造に功績のあったものに対して、知事がこれを表彰し、本県のまちづくりと豊かな住環境の向上に資する。

この事業は、徳島県により平成8年度～平成15年度まで行われ、造景、活動、建築の3部門において公募し、大賞、優秀賞を選出し、知事による表彰を行った。

2004年2月24日 四国放送ニュース

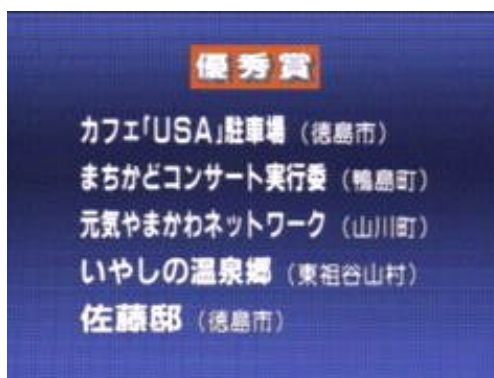
まちづくり環境大賞

自然と共生し徳島の歴史と風土に根ざした生活環境の創造や活動を表彰する県のまちづくり環境大賞に麻植郡山川町の山川バンブーパークが選ばれました。

このまちづくり環境大賞は県が96年から行っているもので5回目となる今回は造景、活動、建築の3つの部門にあわせて27件の応募がありました。この中から大賞1件、優秀賞7件が選ばれ、きょう飯泉知事から表彰状と記念の盾が贈られました。大賞には山川町のバンブーパークが選ばれました。町が吉野川河川敷の竹林を整備し2年前にオープンさせたもので、水生生物の観察会や竹細工教室などに利用されています。公園の清掃や草刈りを地域の人らがボランティアで行うなど地域に根ざした親しまれる公園となっています。

優秀賞には由岐町のアカテガニと共生する環境まちづくり運動が選ばれました。看板を設置してドライバーに産卵のため海に向かうカニへの注意を呼びかけたりカニの住みかとなる石垣を作るなどまちをあげてアカテガニの保護に取り組んでいます。

また優秀賞に選ばれた徳島市の近藤内科病院には末期ガン患者専用の緩和ケア病棟があります。壁をできるだけガラス張りにすることで病院と外部が一体となった開放的な印象を与えており病院建築のあり方に新たな提案がされています。



竹林の向こうに広がる 吉野川の自然。



自然写真

砂州広場



自然があふれる水辺を 安全かつ美しい環境に創出。

美しい自然の状態で無力量化した上で水辺の自然環境を安全に確保するとともに整備し、子供達が安全に自然と触れ合える環境を造りました。

施設概要

名称	項目	内容
エントランス広場	管理棟	事務所、展示室、休憩所、トイレ
	広場	案内板、パネル展示系、モニュメント
駐車場	設備	太陽電池時計、緊急無線
	設備	小型車42台、身障者用2台
多目的広場	芝生広場	芝種量 W90×L160m A=14,100㎡
	ステージ	平戸杉水舞台デッキ R=13.0m A=330㎡
	木製遊具	トランクリンソー、平均台、丸太ステップ
とんぼ池	設備	水飲機
	とんぼ池	多自然型人工池
	水遊びの池	湧水、手押しポンプ
光の広場	設備	休憩所、野外草、水飲機
	芝生広場	φ=35.0m A=920㎡
	連絡道	W=5.0m L=110m
遊歩道	設備	トイレ、休憩所、野外草、水飲機、緊急無線
	設備	W=2.5~3.0m L=128m
遊歩道	設備	石巻、竹垣植栽 W=4.0m L=65m
	設備	休憩所、緊急無線
バンブーアシレシテック	竹製遊具	竹のゆりかご、滑輪、ジャンダルダ、竹のぼり、クマ-
	竹製遊具	5.0m×2.5m
野鳥観察場	設備	緊急無線

子供達がいっまでも遊び、学べる水辺の環境を構築。

NPO、ボランティア団体等の地域の人々が力を合わせて協力し、水辺の自然環境をさらなる自然体験の場や遊びの場として活用できる仕込みを構築いたしました。

はるかなる昔、私たち生物は水辺から進化してきました。現在でもあらゆる生物を育み続ける「水辺の自然」をぜひ感じて学びたい。それが水辺の楽校「バンブーパーク」です。



ご案内図



開園時間 4月～9月 午前9:00～午後6:00
10月～3月 午前8:00～午後5:00

ご注意

※みんなの公園のため、自分のゴミは、自分で持ち帰りましょう。
※犬、猫等のペットは好きないように、また、ふん等は必ず持ち帰ります。
※本園(園内)には、立ち入り禁止の区域があります。
※本園は使用できません。

バンブーパークへのお問い合わせは…

- 吉野川市産業経済部 施設課
〒776-8611 徳島県吉野川市朝島町車馬1115番地1
TEL. 0883-22-2226
- 管理事務所
〒779-3403 徳島県吉野川市山川町前川
TEL/FAX. 0893-42-6070



BAMBOO PARK

遊ぼう！学ぼう！

バンブーパーク

水辺の楽校

Mizubeno 水辺の楽校 OAKKOU

ハングアウト

昆虫採集や野草の観察だけじゃない。
もちろん水遊びやアスレチックも出来る！
ボードウォークやアスレチックも出来る！
大人も子供も楽しめる「自然のっこう」です。



自然河岸



健康の路

自然とふれあえる自然歩道のついで
列道をご利用ください。

自然体験広場

自然河岸



休憩所
水飲み場
緊急無線



ハンブーアスレチック

竹の蔭りかたでハンブーアスレチック、竹のほろ、ラダー等、
自然の力を活かした遊具です。

砂州広場



光の広場

美しい広場。野外活動の場として竹の甲に広がる
明るい広場。



野鳥観察場

ひまわり畑の野鳥の姿を眺める広場です。また、
こまめな観察も可能です。

鳥の群生

自然池

トノボ池

野鳥観察場

竹のステージ

民有林

管理棟

WC

多目的広場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具

エントランス広場

管理棟

WC

駐車場

バス

サイクリング

ハンブーアスレチック

木製遊具